

広報

おとへが

おめでと う
平成25年

5

No.525

夢と希望を胸に学びやへ

町内の小・中学校入学式が4月6日、各小中学校で行われ、小学校では乙部27人、栄浜3人、明和2人の合計32人、乙部中学校に32人が入学しました。少し緊張した面持ちで教室に入った新入生は、これから始まる学校生活への期待で胸を膨らませているようでした。

活力と希望の持てる 豊かで安全・安心な町づくり

※この町政執行方針は、平成25年3月7日開会の第1回町議会定例会で、冒頭に町長が述べたものです。



町政執行方針を述べる寺島町長

はじめに

平成二十五年乙部町議会第一回定例会が開会され、新年度予算案並びに関連案件を提出するにあたり、町政執行への所信を申し上げ、町議会議員並びに町民の皆さんのご理解とご協力をいただきたいと思います。

東日本大震災が発生し、二年を迎えましたが、津波被害を始め原発事故などの影響が大

きく、いまだ多くの問題を抱えており、被災地の一日も早い復旧・復興を願っております。

また、昨年十二月には、政権が交代され、長引いた国内経済もようやく回復の兆しが見え始めていますが、地域の活性化や雇用を維持するため、国は、地方公共団体との連携を密にし、地域の実情に応じた適切な対策を講じてほしいものと願っております。

特に、地方は、景気の低迷による税収等の減少で財政運営に大きな影響をもたらしている状況にありますが、今日まで町総合計画・過疎計画などを基本に産業の振興、医療・福祉の充実、生活基盤・環境整備など各般に亘り積極的な推進に努めてきたところであり

更には、行財政改革の推進を始め、各種補助制度の活用を図るなど、合理的業務の推進と各般にわたる施策の推進に努め、自立体制の確立と財政の健全化のため着実に取り組んできたところであります。今後とも、町づくり計画等のもとに、活力と希望の持てる豊かで安全・安心な町づくりを目指して全力で取り組んでまいりたいと考えております。

な行財政運営に努めてまいりますので、一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

町政の基本的姿勢

地方においては、地域経済や雇用不安など、依然として厳しい状況が続いておりますが、夢と希望のもてる豊かで住み良い郷土乙部町の発展をめざして、次の三つの基本的姿勢のもとで、町政の推進に努めてまいります。

※町民の暮らしを大切にす
る町民本位の町政

※町民の皆さんが気軽に参
加できる清潔公正で民主
的な町政

※健康で心豊かな活力と希
望のもてる町づくり

過去三十年間の町政を振り返ってみて、町政の根幹は豊かな町づくりを進め町民生活が安定充実することであり、このためには町民本位の町政を町民がお互い理解し協力した中で、心を一つに町づくりに取り組むことが何よりも大切なことと痛感しているところで

特に、政治・経済が混迷している時代にあつては、今後とも、お互い知恵を出しあい、町財政の健全化を維持しつつ町民の視点に立った住民サービスに努めるとともに、防災についても、東日本大震災の教訓を活かした防災対策等を進めてきておりますが、更に、安心・安全に生活ができ、町民の一人ひとりが住んで良かったと思える町、誇りをもてる町づくりに全力をあげて取り組んでまいります。

また、町民と心の通う対応に心がけるとともに、厳しい財政事情を見極めながら、常に各種制度の見直しを行い、なお一層効果的、合理的な町政運営に努めてまいります。

町政の課題と主な施策

自立体制の確立と財政の健全化

国の財政が極めて厳しい状況下にあつて、政権が交代され、早速、大型の経済対策を打ち出されたところではありますが、依然として地方財政は厳しい状況にあります。

このような中にあつて、政府は、地域主権の下に地域活性化や地方財政対策として、二十五年度の地方交付税等全体としては、前年度水準を確保されていますが、特に小規模町村においては税収等の伸びが期待できなく厳しい行財政運営を余儀なくされているところであります。

なお、今後は、国の地域経済、雇用対策、更には地方分

権・地方主権の動向等を見据えながら自立体制の基盤強化のためにも産業の振興と雇用の確保、更には少子高齢社会への対応など重要課題として取り組んでいかなければならないと考えております。

そのためにも、お互い痛みを共有した中で、引き続き行財政改革を着実に推進し、将来の世代に責任を持てる健全な財政運営に努めていかなければならないと考えております。

活力ある産業の育成と働く場の確保

地域産業の振興・発展は、自立を着実に進めていくために、最も重要な課題であります。

特に、第一次産業については、厳しい環境下にあります。TPP始め、国の施策動向等を注視しつつ、地域の農林水産業の振興と地域資源の活用を図るなど、積極的に支援し振興を図ってまいります。

農業においては、重要施策として進めている再生プラン

において、ブロッコリーなど着実に成果が出ており、今後とも基盤整備を始め、生産者及び関係団体との連携を図ると共に、新たな作物の導入にも積極的に取り組んでまいります。

また、漁業では、スケトウダラ漁の明るい兆しが見えていますが、サクラマス、ウニ、ナマコ、ニシンなど育てる漁業の推進や二次加工など付加価値の推進に努めてまいります。

林業については、雇用の確保はもとより、森林の多様な公益的機能を一層高めるために森林の整備や林道整備を積極的に進め、豊かな森林づくりに努めます。

商工業及び観光については、地域の活性化と雇用の場の創出を図るため、温泉を利用した宿泊体験施設の整備を進めるとともに、農林水産業と連携による地場産品の開発や既存産業の育成など関連企業等との連携を図りながら取り組んでまいります。

また、高齢者等への悪質商

法等被害防止を始め、町民の心配ごとなどに積極的に対応し、町民の不安解消に努めてまいります。

農林業の振興

- ・生産者団体の育成・強化(担い手の育成・支援)
- ・農業再生プランの推進(ブロッコリー、大豆、地力増進等)
- ・付加価値の高い特産物の生産(高設イチゴ、立茎アスパラ)
- ・農業生産基盤整備の推進(用排水路等)
- ・町有林及び民有林整備事業の推進
- ・林道整備事業の推進(鳥山栄野線、村山緑線、鳥山富岡線、花小栗線、魚つきの森線)
- ・森林組合の健全な育成と事業の拡大
- ・はちみつ等の里の森づくり事業の推進

漁業の振興

- ・水産環境整備事業(乙部増殖施設、豊浜・魚礁)



漁業の振興

主力であるスケソウダラ漁が、今期は一定の回復の兆しを見せました。今後は、育てる漁業の推進をはじめ、水産環境や基盤整備をさらに進め、安定した漁業経営を目指します。



林道整備事業の推進

生活や産業基盤を支える貴重な環境財源として森林造成を積極的に推進し、生産性の向上や森林の多面的利用を図るため、林道網の整備を計画的に促進しています。

・水産物供給基盤機能保全事業（豊浜漁港）

・育てる漁業の推進

○ウニ、ホタテ、ナマコ等

増養殖事業

○サクラマス、サケ、ニシン

ン等の稚魚放流事業

○磯焼け対策の取り組み

（藻場造成等）

・資源の高付加価値化（スケ

トウダラ等）

商工・観光の振興

・地域の消費拡大と地元産出の農林水産物の二次加工の

推進

・既存企業等の育成、強化

・市街地中心街の活性化

・観光資源及び関連施設の活

用

・温泉宿泊体験施設の整備

・緊急雇用創出推進事業の推

進

心豊かな住みよい地域 社会の形成

少子・高齢社会の中で、町民がお互いを思いやり、いたわりの心をもって助け合い、安らぎと潤いのある、調和の

とれたきめ細かい施策を推進して、心豊かな住みよい地域社会の形成に取り組んでまいります。

医療保健福祉の充実

・医療・保健体制の整備（病

院経営、医師の確保及び病

院大規模改修）

・こども医療費給付事業の推

進

・各種検診等保健活動の推進

（特定健診、保健指導、が

ん検診、健康相談、健康教

育等）

・心かよう福祉施策の推進

（介護支援・予防事業等の推

進）

・健康づくり運動の推進（健

康づくり推進協議会との連

携）

生活環境の整備・充実

・海岸、河川、山地等の保全

・生活道路の整備

・簡易水道及び下水道の整備

・合併処理浄化槽設置促進事

業の推進

・廃棄物対策の推進（ごみ、

し尿等）

・地区集会施設の整備

教育・文化・スポーツの 振興

・教育施設等の維持・整備

・文化活動やスポーツ、レク

リエーションの振興

・教員住宅新築事業（乙部地

区 二棟二戸）

ふるさと会との連携

ふるさと会との連携を深め、情報発信やふるさと寄附金などの有効活用を図ってまいります。

（東京おとべ会・さっぽろ乙部

会・函館おとべ会・根室乙友会）

公共施設の整備

当町における大規模な懸案

事業は、その推進に積極的に

努めてきましたが、今後とも

生活施設や公営住宅等の整備

に計画的に取り組んでまいり

ます。

・公営住宅等長寿命化事業

（館浦団地・B棟十八戸）

・特定環境保全公共下水道事

業（緑町、鳥山地区）

・簡易水道施設事業（乙部地

区水源連絡道）

・街なみ環境整備事業（セツ

トバック修景等）

・温泉宿泊体験施設整備事業

（館浦地区）

・地区集会施設整備事業（千

岱野地区）

・国保病院大規模改修事業

・消防施設の整備事業（消防

ポンプ車更新、消防・救急

無線のデジタル化）

開発事業の促進

公共事業は益々厳しい状況にあります。基盤整備の充実とともに産業の振興、雇用の拡大等波及効果が大きく、国や道の行う事業の積極的な推進に努めてまいります。

・道々改良事業（乙部港線、

旭岱鳥山線）

・町道改良事業（姫川富岡線）

・水産環境整備事業（乙部・

藻場、豊浜・魚礁）

・水産物供給基盤機能保全事

業（豊浜・旧西防波堤補修）

・元和台海浜公園歩道改修事

業

・道単独漁港維持補修事業

健康づくり運動の推進

「自分の健康は自分でつくる」という健康に対する自己管理意識の普及を図るとともに、個人から家族、そして地域へと健康づくりを広め、町全体の健康への関心度を高めます。



ふるさと会との連携

町出身者らで組織されているふるさと会では、寄附や老人ホームへの訪問など、乙部町への貢献事業を行っています。今後も連携を深めて、愛されるふるさと作りを進めます。



- ・(元和漁港・航路浚渫)
- ・治山事業(花磯ほか)
- ・砂防事業(花磯川)

行財政の健全運営・予算規模

当町の財政運営は、町税等自主財源に乏しく国や道への依存度が高く、町税等歳入の伸びが期待できないことから

長期にわたり人件費や物件費等の抑制を図り財政の健全化に努めてきたところでありま

す。一方、病院事業等各特別会計への繰出しや公共施設の維持管理費、ごみ・し尿処理負担金、更には、保育園や給食センターへの持出しを始め、介護・福祉事業や高齢者医療制度などの財政負担も大きなウェイトを占めております。

今後とも、職員の一人ひとりが、町の状況を十分認識し、財政負担の少ない各種制度を活用するなど、更に一層知恵と使命感をもって取り組んでまいります。

また、町民の皆様にもご理解とご協力をいただき、人件

費や諸経費の抑制や削減、合理的な業務の推進、各般にわたる施策の効果的選択執行に努めるとともに、町税等の収納率確保を図り、更には、公共料金等についても過度の財政負担にならないように、適正な受益者負担をお願いし、今後とも健全な行財政運営に努めてまいります。

新年度予算は、各会計とも歳入、歳出状況を踏まえつつ、更に一層効率的な運営のもとに、国、道等の補助及び交付金制度の積極的な活用や良質起債の確保に努めることとしております。

なお、新年度においても、特に町内の景気浮揚と地域の振興を図る意味からも、投資的経費で、七億五千六百万円を計上するなど、重要施策については、積極的に展開すべく予算編成したところでです。

平成二十五年度当初予算規模

一般会計

32億4625万3千円

※対前年比で、六・〇%の減となっております。

特別会計

23億2021万2千円

(病院会計含む)

※対前年比で、二・七%の増となっております。

合計

55億6646万5千円と

なっております。

おわりに

三十年間の町政を踏まえて、今後とも町民の幸せ、町の発展に誠心誠意努力してまいる決意でございます。

乙部町は、町民一人ひとりがふるさとの振興発展を願う力強く歩んでおりますことは、町政に携わる一人として大変心強く感謝に耐えないところであります。

特に、人口減少及び高齢社会等大きな課題が山積しております。加えて経済や雇用不安など厳しい時代にありますが、更に、町民一丸となって安心・安全な町づくりに取り組んでいかなければならないと考え

ております。

また、将来の郷土乙部町の飛躍発展のため、先見性をもって幾多の障害にも屈することなく取り組むことが、行政に課せられた責務と考えています。

職員においても、常に町民の目線に立って厳しい地域の実態を良く見極め、自らの責任と自らの判断に基づき、地域の特性を生かした主体的な行政運営を進めるためにも、その力量と信頼を高めていくことが急務とされております。

今後も少数精鋭に徹し、新たな行政課題に対応し得る職員の資質向上に努め、全体の奉仕者として自覚と誇りをもって日常業務にあたっております。

私も、郷土乙部町の振興発展のため、誠心誠意頑張っております。所存でありますので、町議会議員の皆さん並びに町民の皆さんの一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。平成二十五年度の町政執行方針と致します。

開発事業の促進

町の基盤整備の充実のため、道路や漁港の改良をはじめ、治山・砂防事業などの公共事業を進めます。姫川富岡線は拡幅と同時に見通しがよくなり、事故防止が期待されます。



公共施設の整備

下水道事業などの生活施設のほか、集会施設や温泉宿泊施設の整備などに計画的に取り組めます。今年度は国保病院の大規模改修を行うことで、より利便性を高めます。



ふるさとを愛し、活力に満ちた 人間性豊かな町民を育む

※この教育行政執行方針は、平成25年3月7日開会の第1回町議会定例会で、冒頭に教育長が述べたものです。



教育行政執行方針を述べる松原教育長

はじめに

平成二十五年第一回乙部町議会定例会の開会にあたり、乙部町教育委員会教育行政執行方針を申し上げます。

今日、少子高齢化や高度情報化、グローバル化の進展など社会・経済の仕組みが大きく変る中で、地方教育行政も変化を求められております。そうした中、時代の変化の波を乗り越え、持続的な社会

ならではの地域ぐるみの教育活動をめざし、教育行政諸施策を推進してまいります。

学校教育の推進

社会環境の急激な変化は、子どもたちの日常生活に大きな影響を与えておりますが、どんな厳しい状況の中でも、子どもたちが将来への夢や希望を持ち、未来のまちづくりの担い手として成長していくために、学校教育はその基盤づくりをしていく大切な役割を果たしていかなければなりません。

町内の学校へ通う子どもたち一人ひとりが、それぞれの学校生活に充実感を覚え、「また、明日も元気に学校へ行こう」と思える学校を作ると、学校はもとより保護者や地域住民と連携を密にし、その環境づくりに努めてまいります。

地域に根差し、信頼される学校づくりの推進

学校は、保護者や地域住民の願いや思い、意見や要望を的確に受け止めるとともに、子どもたちの現状と課題を明確にした経営方針を確立させ、家庭や地域社会と連携・協力し互いに信頼関係を持ちながら、学校づくりを進めていくことが大切です。

このため、学校評議員制度や外部評価など活用し、積極的に学校運営の改善を図るためPTAを始め、校長会や教頭会などの各教育関係団体との連携を積極的に進め、乙部町の子どもの現状や課題を共有し、学校改善に努めてまいります。

また、学校教育の直接的な担い手である教職員の資質の向上のための研修を積極的に推進してまいります。

基礎・基本の学力の定着と確かな学びを育てる学習指導の充実

子どもたちが学ぶことに興味を持ち、楽しさを感じながら、基礎・基本の学力を確実に身につけ、さらに応用・実践へと発展できる力を育成する指導と学習意欲の向上を育む教育の展開を進めてまいります。

全国学力・学習状況調査の結果をふまえ、町としての分析や改善方針の方向を示しながら、各学校独自の学校改善プランの充実を図ります。

効果的な学習指導を展開するために、TT（チーム・ティーチング）による学習指導や、習熟度別学習指導などの多様な学習形態を取り入れた指導の展開を図ります。

学校・保護者の理解と協力

のもと「乙部町学習・生活習慣向上プロジェクト」を立ち上げ学習の習慣化に向け、家庭と課題を共有しながら家庭学習の充実を図ってまいります。

また、引き続き小中連携事業（ジョイントプロジェクト）による乗り入れ授業の実践など校種間の連携を積極的に推進します。

社会科学副読本は、学校現場において郷土の学習に欠かせないものとして活用されておりますが、今年度全面改訂し、ふるさと乙部町のよさと未来への展望をより具体的に理解できるように内容の充実に努めます。

豊かな心と健やかな体の育成

豊かな心を育むには、道徳教育や体験的な活動を通じて、自己肯定感とともに他を思いやる心や豊かな感性などを培うことが大事です。

このため学校においては、子どもたちとの信頼関係を築きながら、引き続き全教育活動を通して、思いやりの心や規範意識、感動する心、そし

て自然や人とのふれあいを深め生命を大切にすることを、道徳の時間や総合学習の時間・特別活動などボランティアや各種体験活動を促進し、心の教育を推進してまいります。

「いじめ・不登校」などの防止に向けては、学校・家庭・関係機関との連携を密にし、各種アンケート調査等の実施やスクールカウンセラーの巡回相談を行い早期発見、早期対応、早期解決に努めます。

また、町生連や青少年育成懇談会などの積極的な連携を図りながら地域全体で子どもたちの健全な育ちを見守る環境づくりに取り組んでまいります。

二十一世紀を担う人づくりとして、異文化にふれ柔軟に対応する人材育成は重要で、このため、引きつづき留学生との国際交流、夏のおどいのほか、小中学校との連携を図りながら、ALT（外国語指導助手）による英語指導の充実や異文化理解、国際性の育成に努めてまいります。

健やかな体を育むためには、基本的な生活習慣の確立を図ることが大切であり、「早寝・早起き・朝ごはん」を推進すると共に、おとべ塾（通学合宿）を実施し、学校と家庭・行政が一体となって取り組み、児童生徒の生活習慣の向上に努めます。

むし菌予防のため学校保健会を中心にフッ化物洗口事業について、保護者の理解を得ながら実施に向けた取り組みを推進してまいります。

学校給食センターにおいては、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため栄養バランスのとれた豊かな食事を提供すると共に衛生管理の徹底に努めてまいります。

特別支援教育の充実

特別な支援を要する児童生徒の実態を把握しながら、これまで障害の種類や特性に応じて、将来の自立や社会参加を目指す、特別支援学級の設置と個別の指導を行ってきましたが、最近では、普通学級に在籍する子どもたちの中にL

D（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、高機能自閉症などの特別支援学級設置に至らない発達障害を抱える児童・生徒が見られるようになり、就学指導専門委員会を始め、各学校の特別支援校内委員会等との連携を密にし

ながら、支援体制の充実と保護者への啓発活動に努め、本年度は特別支援学級及び特別支援員を増やし、きめ細かな特別支援教育の充実を図ってまいります。

教育環境の整備

子どもたちが安心して学校生活を送るために、計画的に学校施設の環境整備を図ることが大切であり、日常の施設の維持管理、修繕などについても学校と連携を密にし、これまで同様に万全を期するとともに、子どもたちの学びやすい環境整備に努めてまいります。

また、教員住宅二戸（乙小校長・教頭住宅）の建替を行い住環境の向上を図ってまいります。



おとべ塾（通学合宿）

子ども達の学習・生活習慣の形成を目的とした事業で、町民会館に寝泊りをしながらいつも通り学校へ通い、放課後学習や夕飯作り等を子ども達自らが主体的に実践します。



ALT（外国語指導助手）

異文化にふれ、柔軟に対応する人材の育成は重要であり、引き続きALTを活用し、小中学校の英語指導の充実のほか、子ども達の異文化理解や国際性の育成に努めます。

社会教育の推進

社会環境の著しい変化に伴い、町民はそれぞれ多様な価値観を持つて豊かな生活や自己実現を求めるようになり、様々な文化活動やスポーツ活動への参加意欲も高まってきました。

これらの多種多様な要望に応え、それぞれ自立した活動を展開できる生涯学習社会の実現を図るため、町長部局や関係機関・団体との連携を密にし、地域住民の自主的な生涯学習を推進するための環境作りに努めてまいります。

学習活動の活性化

地域社会にあつて青少年が、社会の一員としての自覚を高めるべく地域が企画する、世代間交流などの事業へ積極的に参加することを通して、社会生活の規範意識や生活の知恵を身につける学習の機会やリーダーの養成に努めて参ります。

地域の人材発掘を積極的に、学校と連携しながら地

域ぐるみで子どもたちを見守り、育てていく風土を醸成してまいります。

高齢者大学や地域学級など、参加意欲が高く本年度も、研修内容を充実させて、交流や生きがいづくりの場として充実させてまいります。

遊びを通して、日本の伝統文化に触れさせるとともに、高齢者と子どもたちの交流を図ってまいります。

また、各校区に開設している家庭教育セミナーや出前講座についても、地域の特性や要望を生かした、参加しやすい学級開設となるよう情報の提供に努め、家庭の教育力の向上を図ってまいります。

「乙部町学習・生活習慣向上プロジェクト」を推進し、望ましい生活習慣化に向け、親学の充実を図ってまいります。

芸術文化・スポーツの推進

感性豊かな人材づくりや地域づくりの要として、文化団体連絡協議会を中心とした、各種の文化活動団体の日常的

な活動や、実行委員会を中心とした町民文化祭の取り組みを支援してまいります。

芸術文化を通して、豊かな心の醸成を図り、活気ある町づくりを進めるために、各団体が主催する芸術鑑賞や音楽会などの活動を積極的に支援してまいります。

また、町民が日常気軽に健康づくりや体力づくり、スポーツに親しめるよう体育協会やスポーツ推進委員、スポーツ少年団の指導者等の協力を得ながら、スポーツを通して「健康で明るい町づくり」を積極的に進めてまいります。今後も各種スポーツ施設の維持・管理に力を注ぎ、一層の有効活用を図ってまいります。

読書活動の推進

図書室は、町民誰もが気軽に利用できる憩いの場として、また情報センターとしての役割を果たすよう、蔵書の充実や館内の環境整備、蔵書検索システムの活用を図ります。

また乙部町子ども読書推進プランに基づき、各学校と連携を図り読書活動の充実を図ってまいります。

子どもたちの健やかな成長のためには、家庭や地域の教育力の向上が大切であり、学習機会の充実を図るとともに、読書推進ボランティアを支援し、読み聞かせ活動を通して、親子のふれあいの場を設定し推進してまいります。

むすび

以上、平成二十五年度の教育行政執行方針を申し上げます。豊かな人づくりの実現に向けて、教育の果たす役割はますます大きく、とりわけ逞しく未来を切り拓く子どもたちを地域全体で守り育てて行くことが大切です。教育・文化・スポーツの振興と生涯学習社会の実現をめざし、町民と協働・連携し、教育施策を全力で取り組んでまいります。

議員並びに町民皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。



読書活動の推進

図書室の環境整備はもとより、学校と連携し、巡回図書や朝読書を実施。読書推進ボランティアを支援し、読み聞かせ活動を行い、本とのふれあいの場をつくっていきます。



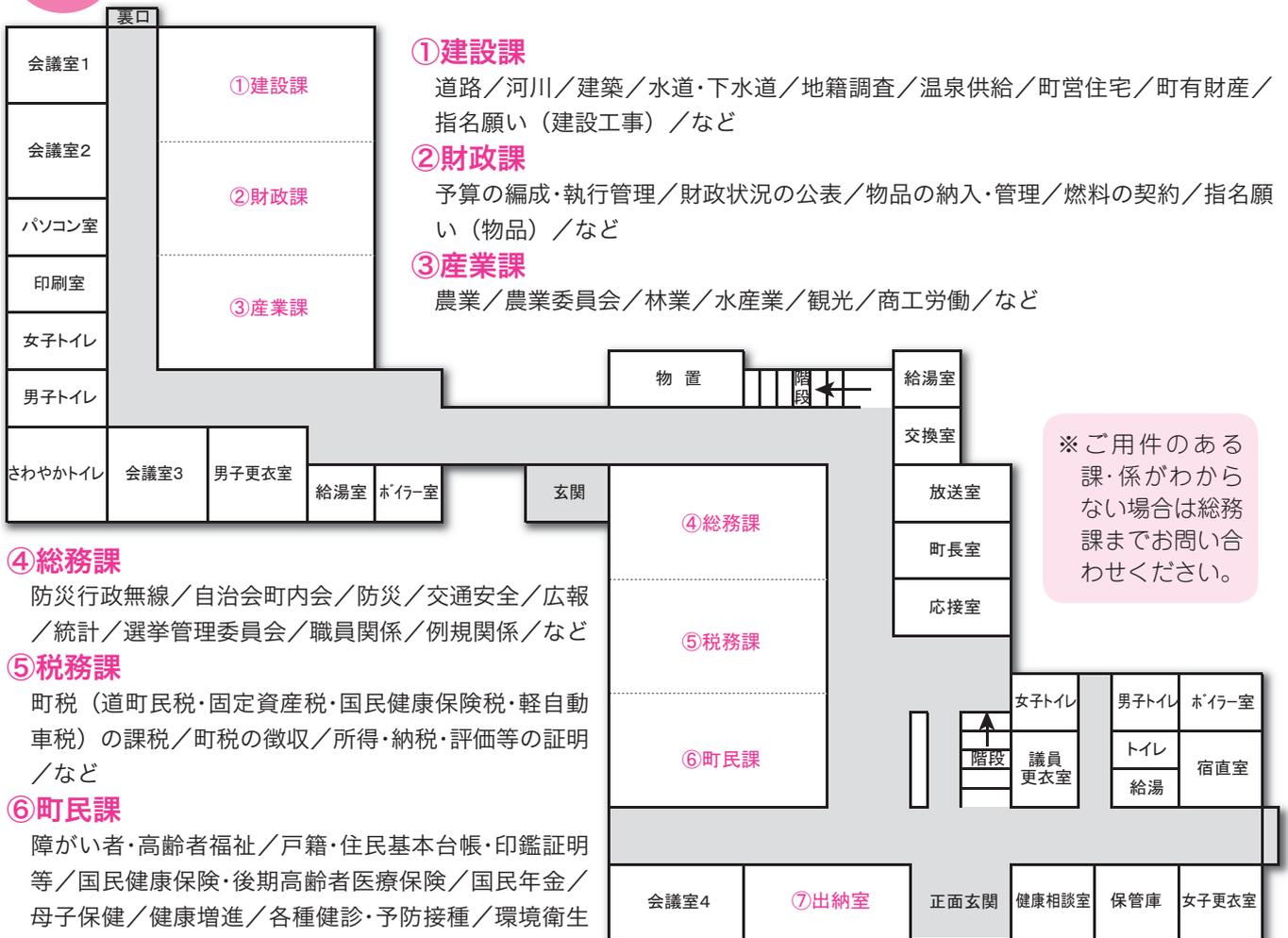
乙部町学習・生活習慣向上プロジェクト

このプロジェクトでは、「家庭学習のてびき」を発行しました。また、学校と家庭が協力して子どもの良好な習慣形成を図れるよう、学習会などの開催も計画しています。

乙部町役場主な窓口業務のご案内

1F

役場庁舎<62-2311>



①建設課

道路/河川/建築/水道・下水道/地籍調査/温泉供給/町営住宅/町有財産/指名願(建設工事)/など

②財政課

予算の編成・執行管理/財政状況の公表/物品の納入・管理/燃料の契約/指名願(物品)/など

③産業課

農業/農業委員会/林業/水産業/観光/商工労働/など

④総務課

防災行政無線/自治会町内会/防災/交通安全/広報/統計/選挙管理委員会/職員関係/例規関係/など

⑤税務課

町税(道町民税・固定資産税・国民健康保険税・軽自動車税)の課税/町税の徴収/所得・納税・評価等の証明/など

⑥町民課

障がい者・高齢者福祉/戸籍・住民基本台帳・印鑑証明等/国民健康保険・後期高齢者医療保険/国民年金/母子保健/健康増進/各種健診・予防接種/環境衛生/浄化槽/介護保険/保育園/集会所の管理運営/など

※ご用件のある課・係がわからない場合は総務課までお問い合わせください。

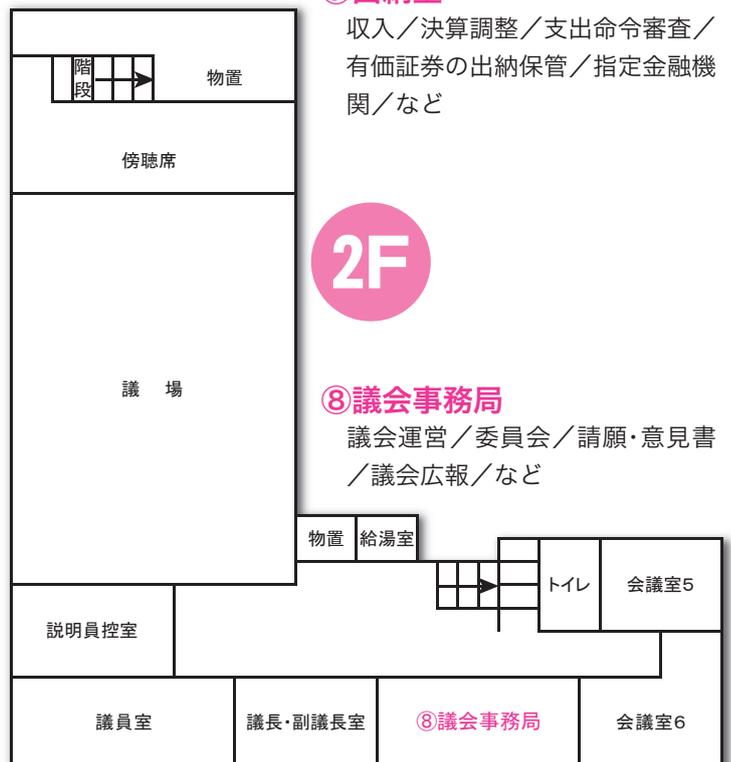
⑦出納室

収入/決算調整/支出命令審査/有価証券の出納保管/指定金融機関/など

2F

⑧議会事務局

議会運営/委員会/請願・意見書/議会広報/など



出先機関

- **教育委員会<62-2253>**
学校教育/学校管理運営/社会教育振興/社会教育・体育施設管理運営/など
- **公民館<62-3311>**
町民会館・公民館の管理運営/図書室/文化財/歴史資料/郷土学/など
- **給食センター<62-2406>**
学校給食/給食センターの管理運営
- **乙部町地域包括支援センター<62-5845>**
介護予防/高齢者の健康・生活の相談/高齢者の権利擁護/ケアマネジメントの支援/など
- **つくし保育園<62-2952>**
未就学児童の保育/子育て支援センター/など
- **乙部町国民健康保険病院<62-2331>**
内科・外科・小児科/病院の管理運営/など

平成25年度

予算概要

春の訪れとともに平成二十五年
年度がスタートしました。

三月七日から開催された町
議会において、平成二十五
年度の各会計予算が議決されま
した。

一般会計予算は、三十二億
四千六百二十五万三千円で前
年度当初予算から二億七百万
十一万九千円（六・〇一％）
の減額となりました。

また、特別会計（国保、後
期高齢者、介護保険、簡易水
道、公共下水道、漁業集落排
水、病院）の総額は、二十億
八千七百一十万一千円となり、
一般会計、特別会計合わせて、
五十三億三千三百三十五万四
千円（前年度比六・六四％減）
となっています。

歳入

歳入では、全体の五十四・
二一％を占める地方交付税が

十七億五千九百九十万円と前
年度から三百九十一万二千円
の減額。国庫支出金が二億二
千二百八十八万三千円と昨年度
から一億十三万九千円減額し
ています。

事業を行うために借り入れ
のお金（町債）が三億三千六
百八十万円となっています。

歳出

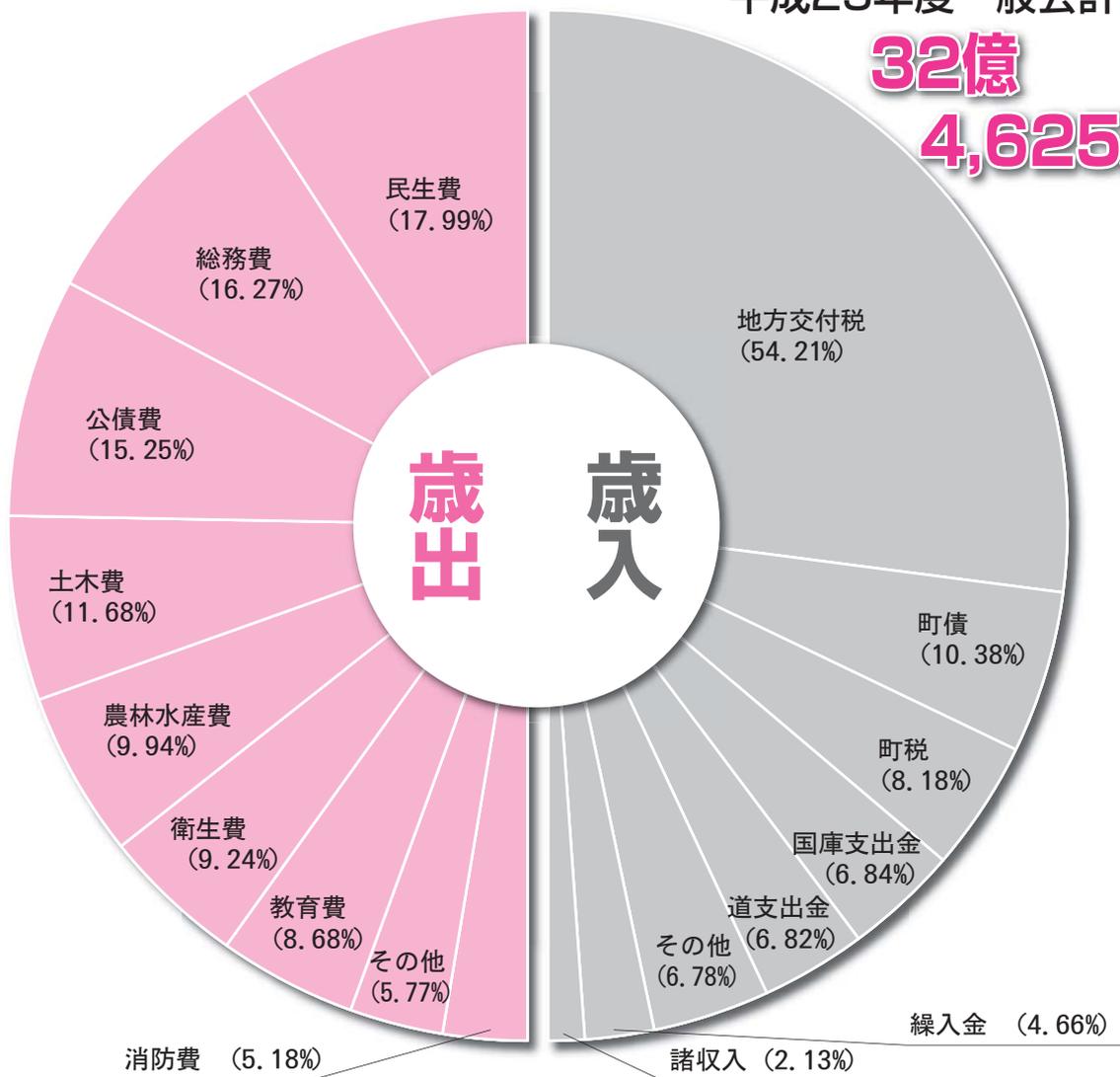
歳出では、老人福祉、児童
福祉や障害者福祉などの民生
費に、五億八千三百九十九万
一千円。

土木費では、姫川富岡線の
改良舗装や公営住宅館浦団地
長寿命化改善事業などに三億
七千九百三十万九千円。

また、公債費（町債の償還
金）が、前年度より二千四百
九十五万六千円増の四億九千
五百五十五万五千円と全体の十
五・二五％を占めています。

平成25年度一般会計予算額は

**32億
4,625万3千円**



予算計上の主な事業〈一般会計〉

- ◆自治・ふるさと振興 (1,036万8千円)
自治ふるさと振興対策（ふるさと振興助成金、ふれあい交流盆踊り推進事業交付金、オートピア創造振興奨励金など）、集落支援事業実施委託など
- ◆医療・保健体制の整備 (1億4,037万4千円)
国民健康保険病院事業会計繰出金、歯科診療所運営費、へき地患者輸送車の運行など
- ◆健康の保持促進 (1,841万4千円)
疾病予防対策、母子保健対策、町民健康づくり推進協議会補助金など
- ◆老人福祉対策 (1億3,749万7千円)
老人の生きがい対策、長寿祝金の支給、高齢者医療対策、老人保護措置費、高齢者ふれあいセンター管理運営費など
- ◆児童福祉対策 (1億2,488万9千円)
常設保育園運営費、児童手当の給付、こども医療費給付事業など
- ◆障害者福祉対策 (1億2,436万9千円)
障害者自立支援給付費、重度心身障害者医療給付事業など
- ◆塵芥及びし尿処理対策 (6,313万円)
南部松山衛生処理組合分担金、資源ごみリサイクル運動推進事業交付金、浄化槽設置促進事業補助金、廃棄物不法投棄対策など
- ◆季節労働者等雇用対策 (1,541万5千円)
緊急雇用創出推進事業、季節労働者援護事業など
- ◆農業の振興 (2,833万7千円)
国営土地改良事業負担金、農業再生プラン、戸別所得補償制度推進事業、中山間地域等直接支払交付金、農業体質強化基盤整備促進事業など
- ◆林業の振興 (1億9,384万7千円)
町有林整備事業、民有林整備事業、林業振興資金貸付金、森林管理道鳥山栄野線開設事業、森林管理道村山緑線開設事業など
- ◆漁業の振興 (636万2千円)
水産業基盤整備、産業振興奨励補助金（ウニ深淺移植事業）など
- ◆観光資源及び関連施設の活用 (1,736万9千円)
フェスティバル振興奨励補助金、温泉供給施設の維持管理など
- ◆生活道路の整備 (1億4,551万1千円)
姫川富岡線改良事業、町道維持補修事業、町道維持管理費など
- ◆住宅環境設備 (7,739万3千円)
館浦団地長寿命化改善事業、町営住宅維持補修など
- ◆街なみ整備 (206万4千円)
街なみ環境整備事業など
- ◆消防防災施設の整備 (1億6,757万6千円)
檜山広域行政組合分担金、防災行政無線の維持管理、防災用資機材の整備など
- ◆学校教育の充実 (8,639万5千円)
学校教育施設・設備等の整備充実、教材及び教具の整備、児童・生徒就学援助対策、学校給食の充実、語学（英語）指導助手の招致など

歳入

科目	予算額	前年度対比
町税	2億6,550万2千円	156万2千円
地方交付税	17億5,990万円	△391万2千円
国庫支出金	2億2,218万3千円	△1億13万9千円
道支出金	2億2,151万5千円	4,783万1千円
繰入金	1億5,112万4千円	6,737万3千円
諸収入	6,901万6千円	△536万9千円
町債	3億3,680万円	△2億310万円
その他	2億2,021万3千円	△1,166万5千円
合計	32億4,625万3千円	△2億741万9千円

歳出

科目	予算額	前年度対比
総務費	5億2,800万8千円	1億1,960万4千円
民生費	5億8,399万1千円	△587万7千円
衛生費	2億9,990万8千円	△4,625万2千円
農林水産業費	3億2,254万円	△6,220万9千円
土木費	3億7,930万9千円	△2億284万円
消防費	1億6,813万6千円	△1億2,687万円
教育費	2億8,172万7千円	3,759万9千円
公債費	4億9,505万5千円	2,495万6千円
その他	1億8,757万9千円	5,447万円
合計	32億4,625万3千円	△2億741万9千円

特別会計予算額は

20億8,710万1千円

科目	予算額	前年度対比
国民健康保健事業特別会計	5億9,274万2千円	1,243万4千円
後期高齢者医療特別会計	5,676万9千円	177万4千円
介護保険特別会計	7億1,977万7千円	△1,573万5千円
簡易水道事業特別会計	1億517万9千円	△7,609万円
公共下水道事業特別会計	1億5,722万3千円	△6,322万9千円
漁業集落排水事業特別会計	5,042万5千円	△288万1千円
国民健康保険病院事業会計	4億498万6千円	△2,839万9千円
合計	20億8,710万1千円	△1億7,212万6千円

地域振興を願って

CACが寄附

(株)CAC（本社・千葉県流山市）が同社の乙部工場完成二十五周年を記念して、乙部町の振興発展のために町に一億円を寄附しました。

三月二十八日には、同社直営のホテル、ACCルネッサンスセーラーでその贈呈式が行われました。

当日は、同社の山田晃社長から寺島光一郎町長へ寄附金の目録が手渡され、山田社長は「昭和六十三年に乙部工場が完成してから二十五年、地域のおかげでここまでくることができた。乙部町への感謝の気持ちと振興発展を願って寄附させていただきます。」とあいさつ。

寺島町長は「地域社会に根ざした経営をされていて、雇用を創出するなど、大きな効果を生み出す地域の宝であり誉れ。町としてもこの寄附金を地域振興のため基金に積ん



で有効に活用する予定です。」と謝辞を述べました。

同社は、平成十八年にも乙部町に一億円の寄附をしていて、今回で二回目。

また、工場とホテルを合わせると約四十人の従業員を有し、大きな雇用を生み出しています。

寄附金は、基金に積み立てた上で乙部町の地域振興に役立てるため、有効に活用する方針です。

災害時の備えを万全に

乙部町は、万が一の災害時に住民の生命と財産を守ることに出来るように、様々な準備を進めています。

その取り組みの中で、三月末には防災資機材備蓄センターが完成し、四月三日には防災関係協定の一つとして、災害時におけるレンタル機材の供給に関する協定を締結しました。

「災害に備え物資の備蓄を」

防災資機材備蓄センターは、防災資機材や生活必需品などを管理・備蓄することで、災害発生時に迅速で効果的な初期活動を行うことが出来るように整備されました。

また、万が一の大津波などによって役場庁舎の防災無線が使用できなくなった場合を想定して、非常用の無線局も備えています。

「迅速な災害復旧活動のため」

災害時におけるレンタル機材の供給に関する協定が四月

三日、町内滝瀬に本社を置く有限会社ステップと乙部町との間で締結されました。

この協定は、災害発生時などの場合に迅速で円滑な災害復旧活動を行うことが出来るようにと締結したものです。

当日行われた調印式では、中野秀二社長が「乙部町の業者として、災害時には迅速に対応します。」と話していました。

現在、乙部町が締結している防災関係協定は次の表のとおりです。

防災関係協定一覧

締結年月日	協定名	協定概要	締結先
平成20年4月1日	乙部町所管公共施設における災害時の協力体制に関する実施協定	<ul style="list-style-type: none"> 情報連絡網、協力実施体制の構築と共有 資機材保有状態の報告 施設の被害状況把握、災害応急対策、その他必要と認める業務対応 	乙部建設協会
平成20年6月10日	北海道及び市町村相互の応援に関する協定	<ul style="list-style-type: none"> 食料、飲料水及び生活必需品並びにこれらの供給に必要な資機材提供及びあわせ 被災者の救出、医療及び防疫、施設の応急措置等に必要な資機材、物資の提供及びあわせ 災害応急活動に必要な職員の派遣等 	道、市町村、市町村三者協定
平成21年11月20日	災害対応型自動販売機による協働事業に関する協定	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時、電光掲示板による乙部町の地域情報・行政情報・災害情報・気象情報等の提供 緊急時における、自動販売機内にも在庫飲料の無償提供 	北海道コーカ・コロシアング(株)
平成22年5月25日	北海道地方における災害時の応援に関する申し合わせ	<ul style="list-style-type: none"> 土木施設等の被害状況把握 二次災害の防止に資する応急措置の準備 その他北海道開発局が緊急に応援を実施する必要があると認められるもの 	北海道開発局
平成22年6月30日	災害発生時におけるLPガス供給の協力に関する協定書	<ul style="list-style-type: none"> 被災場所における応急措置及び復旧工事 LPガスの供給・供給に必要な関連機器の設置工事 簡易コンロ等の手配等 	北海道エネルギーガス災害対策協議会
平成23年6月30日	災害時における乙部町と乙部町内郵便局間の協力に関する協定書	<ul style="list-style-type: none"> 郵便局ネットワークを活用した広報活動 郵便局の車両を緊急車両等として、業務に支障のない範囲で提供等 	乙部町内郵便局
平成23年10月18日	災害時における乙部町と電気保安協会の協力に関する協定書	<ul style="list-style-type: none"> 電力復旧のために必要な調査等の応急対策活動 電力復旧工事の監督、指導及び検査等 	北海道電気保安協会
平成25年4月3日	災害時におけるレンタル機材の供給に関する協定書	<ul style="list-style-type: none"> 保有機材の優先供給及び運搬に対する協力 	有限会社ステップ

●備蓄センター
木造2階建てで、延べ床面積は393.29平方メートル。
大津波時に防災機材や生活必需品を持ち出すことを想定して、海拔20メートルの市街地高台に建設されました。



わが家のアイドル

お父さん＝

由利 慎司さん

お母さん＝

美穂子さん

ぼくは＝

2歳2ヶ月の男の子です。

名前の由来＝

「楓」の字を使おうと思っていて、男の子だったので楓太にしました。

両親の願い＝

誰からも愛されるような人
気者になってほしいです。



由利 ^{ふうた} 楓太くん
(栄 浜)



竹中 ^{みお} 美桜ちゃん
(緑 町)

お父さん＝

竹中 浩さん

お母さん＝

琴美さん

わたしは＝

2歳1ヶ月の女の子です。

名前の由来＝

お姉ちゃんと同じく呼び名
が2文字&季節に関係ある名
前を付けたくて、字画をみて
決めました。

両親の願い＝

美しい心、人に優しく、桜
のように人に笑顔を与えるよ
うな、素直な子に育って欲し
いですね。

第二次若手剣道人に

小田教貴さんが選出

乙部町字緑町出身の小田教貴さん（東京都・二十九才・五段）が、全日本剣道連盟設立六十周年記念事業の、第二次若手剣道人の選考で、全国から選抜された三十六人の中に入りしました。

この若手剣道人の選考は、全国規模で活躍している二十代を中心とした若手剣道関係者を指名し、その動静を五年、十年など定期的に把握し、五

十年間続けます。

動静を把握すること、どのよう
な剣道人生を送つ
たかを調べる長期
的な社会調査の意

味合いや、剣道の歴史的資料
の積み上げを行うことなども
視野に入れています。

選抜された三十六人の中に
は、全日本剣道選手権での優
勝経験者など、輝かしい実績



を持つ剣士もいて、その中に
肩を並べるかたちで選出され
たことは、町内の剣道少年だ
けでなく、全ての児童・生徒
に勇気とやる気を与えてくれ
そうです。

事故のない安全な町に

春の全国交通安全運動が四
月六日から十五日まで開催さ
れました。

運動期間中、各自治会町内
会や企業から、延べ約七百人
が登校時間を中心に街頭指導
を行い、交通安全を呼びかけ
ました。

登校中の児童らは、「おは
ようございます」と元気な声
であいさつしながら登校し、
見守っている地域の皆さんは

笑顔で見送りました。

また、期間中の十日には滝
瀬地区で、十四日には元和地
区で交通安全街頭啓発が行わ
れました。

それぞれ国道を通行するド
ライバーに、交通安全パンフ
レットなど啓発グッズを手渡
しながら「安全運転でお願い
します。」と声をかけていま
した。

乙部町では、運動期間中の



交通事故は報告がなく、四月
末での交通死亡事故ゼロの日
数は一千四百七十一日を数え
ています。

乙部町民の健康の様子をお知らせします！

町の様々な調査を集計し、乙部町民の健康の様子をまとめてみました。
 いくつになっても健康で元気にすごしたいというのはみんなの願い。そして、経済的な面も大切ですよ。
 このデータを見て、あなたはごどう思いますか？

乙部町の平均寿命は？ (H17年国勢調査)

男性76.3歳/女性83.5歳
 で全国平均より低い

※全国平均 男性77.7歳
 女性84.6歳



●元気で健康、
 長生きを目指そう！

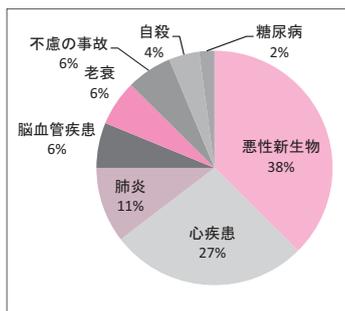
介護の状態は？ (平成23年度町町民課調べ)

要介護認定を受けているのは、65歳以上の22%で全国より高い(全国17.7%)が、歩行や日常生活が自立できている要支援や要介護1, 2の認定者が多く、そのうち7割は生活習慣病が基礎疾患である。

●もし介護が必要になっても病気を重症化させないことが、日常生活を自立しながら長生きできるコツ！

死亡原因となるのは何？ (H22年度町町民課調べ)

1位 がん、2位 心疾患、3位 肺炎

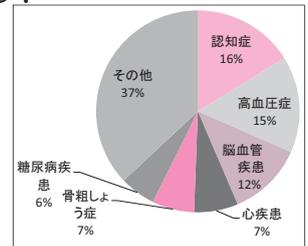


●「がん」も「心疾患(生活習慣病)」も早期発見で回復が見込める病気！
 がん検診や特定健診を積極的に活用しよう！

介護の原因は？ (平成23年度町町民課調べ)

認知症が最も多い16.2%。一方で、高血圧、糖尿病、脳血管疾患、心疾患などの生活習慣病が40%を占めている！

●若い時の生活習慣が要介護状態になるかどうかの分かれ道！
 若い時から生活習慣病を防ごう！



病気になったらいくらかかるの？～生活習慣病の場合～(H24年度5～11月国保レセプト統計)

入院は脳血管疾患が最も高く平均約120万円(3割負担で36万円)。最高で340万円かかっていました。
 外来は、糖尿病が最も高く平均約3万7千円(3割負担で1万1千円)。罹患数が多いのは高血圧でした。



●病気になると、お金がかかる！
 交通費や時間などを考えると、損害は大きい。
 ただし、毎日の生活を見直せば負担軽減できるのが、生活習慣病でもある！

1件当たり費用額 (入院)

疾患	費用(円)
1位 脳血管疾患	1,204,670
2位 虚血性心疾患	952,426
3位 脂質異常症	633,817

1件当たり費用額 (外来)

疾患	費用(円)
1位 糖尿病	36,527
2位 高血圧	21,476
3位 脳血管疾患	16,816

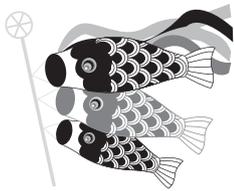
やはり、病気の予防や早期発見が大切です。 健診は今の自分の健康状態を知り、直せるチャンス！

5月26日(日)町民会館、5月27日(月)とよはま地区センターで特定健診、がん検診を実施します。詳しくは5月カレンダーのページまたはお電話にてご確認ください。

健診お申込み・お問合せ: 役場町民課保健衛生係 電話 62-2311

■上記の統計などを踏まえた『乙部町特定健康診査等第二期実施計画』を策定しました。

詳しくは町ホームページ、または役場保健師におたずねください



5月のカレンダー



日	月	火	水	木	金	土
4/28	4/29	4/30	1	2 乙部中学校開校記念日	3 (憲法記念日) 休日当番医 道立江差病院	4 (みどりの日) 休日当番医 乙部町国保病院
5 (こどもの日) 休日当番医 厚沢部町国保病院	6 (振替休日) 休日当番医 道立江差病院	7 ヒブワクチン予防接種 (国保 午後1時～) 不活化ポリオ予防接種 (国保 午後1時～)	8 1歳6か月児、3歳児健診 (交流 午後1時～)	9 お達者びんしゃん教室 (ケア 午前10時～)	10	11
12 休日当番医 佐々木病院	13 ミニひよこサークルMAMA FIT (交流 午前10時～) 狂犬病予防注射 (町内 午前10時～)	14 三種混合予防接種 (国保 午後1時～) 四種混合予防接種 (国保 午後1時～) 榆山園地障害者総合相談支援 めいこ相談 (ケア 午後1時30分～) 狂犬病予防注射 (町内 午前10時～)	15 赤ちゃん相談・赤ちゃん健診 (ケア 午後1時～)	16 サロン「とよはな」 (豊セ 午後1時～)	17	18 すくすく広場 (つ保 午前9時30分～)
19 休日当番医 半澤医院 春の植物観察会 (公館 午前9時30分～)	20	21 麻しん風しん予防接種(1歳児対象) (国保 午後1時～) BCG予防接種 (国保 午後1時20分～)	22 ひよこサークル(いちご祭り予定) (午前10時～)	23 お達者びんしゃん教室 (ケア 午前10時～) 健康相談 (ゆり 午後1時30分～) ウォーキング講座 (町体 午後6時～)	24 健康相談 (三愛 午前9時～) 健康相談 (三研 午前9時40分～)	25 南部檜山清掃センターは機械点検整備のため休業となります。 乙部中学校体育祭 (乙中 午前8時30分) みたいよみたい絵本とかみしばい (乙公 午前10時)
26 特定健診・がん検診・各種検査 (町館 午前6時～) 休日当番医 道立江差病院	27 特定健診・がん検診・各種検査 (豊セ 午前6時～)	28 おしゃべりサロン (姫ふ 午後1時30分～) こころの健康相談 (江保 午後3時～)	29 肺炎球菌ワクチン予防接種 (国保 午後1時～) おたっしゃ体操教室 (豊セ 午後1時30分～)	30 ぴよぴよ広場 (ケア 午前10時～) 麻しん風しん予防接種(年長児対象) (国保 午後1時～)	31 男のためのお達者教室(体操) (ケア 午後1時30分～)	6/1

会場・場所省略	(つ保)	つくし保育園	(豊セ)	とよはま地区センター	(元交)	元和交遊館
	(国保)	国保病院	(交流)	生きがい交流センター	(栄ふ)	栄浜ふれあいセンター
	(町体)	町民体育館	(ゆり)	ゆりの里活性化センター	(姫ふ)	姫川ふれあいセンター
	(ケア)	ケアセンターおとべ	(江保)	江差保健所		
	(千研)	千岱野研修会館	(三愛)	三ツ谷愛郷会館		
	(町館)	町民会館	(三研)	三ツ谷研修会館		

教育委員会だより

第278号

一年間の学習の締めくくり

～高齢者大学修了式～

三月二十二日、公民館において高齢者大学修了式が開催されました。昨年度は町内十地区で七十講座が開設され、延べ三百十二名が一年間の学習を修了しました。修了式には八十名の受講生が集まり、受講生を代表して緑町・館浦地区の菊池晴一分校長に修了証書が授与された後、郷土料理教室や軽スポーツ講座、町



修了証書を受領する菊池分校長

外視察研修など各地区の一年間の様々な学習の様子をスライド上映で振り返りました。その後、檜山教育局義務教育指導監の白川清久氏（つるつる亭シラリン）による落語講話と澤田夷静氏による日本舞踊を鑑賞し、一年間の学習の締めくくりとなりました。今年度も高齢者大学を開催しますので、皆さまの受講をお待ちしています。



つるつる亭シラリンの落語講話

子ども達の安全を願って

三月二十七日、乙部町商工会女性部部長の米田百合子氏が教育委員会に来庁し、新入学児童用に登下校時の安全を願って交通安全のキーホルダーが寄贈されました。今年度の新入学児童は全小学校三校三十二名で、入学式が始まってから各小学校の児童に渡されました。

まだ登下校に慣れない子ども達もいますので、町民の皆さまも目配りと声かけや自動車の安全運転へのご協力をお願いいたします。



交通安全のキーホルダーが寄贈されました

ウォーキング講座が開催されます

今年度も五月二十三日の乙部地区を皮切りに、ウォーキング講座が開催されます。昨年度は天候に恵まれ、計五回延べ百五十一名の参加者が豊かな自然の景色を楽しみながら爽やかな汗を流しました。時間や集合場所は防災無線等でお知らせいたします。

【今年の講座予定】

- ・五月二十三日（乙部地区）
- ・六月二十日（栄浜地区）
- ・七月十八日（明和地区）
- ・八月二十二日（姫川地区）
- ・九月五日（乙部地区）



昨年度のウォーキング講座（鳥山・栄浜地区）

豊かな自然の中を散策しませんか♪ ～春の植物散策会～

近年、樹木から発散されるマイナスイオンが健康に良いと言われ、森林浴人気が高まっています。豊かな自然の中を散策し心と体をリフレッシュしませんか？昼食では、新鮮な山菜を天ぷらで味わいます。

- 日時 5月19日（日）9時30分に公民館前バス出発
- 場所 旭岱竹森方面（予定） ■参加料 300円（おにぎり等持参）
- 申込 5月16日（木）までに公民館へ TEL62-3311



学習・生活習慣の向上を目指して

「家庭学習のてびき」を発行

教育委員会・校長会・教頭

会・各学校教諭・PTAの代表から構成される乙部町学習・生活習慣向上プロジェクトでは、この度、「家庭学習のてびき」を発行し全児童生徒に配布しました。

学力の向上には、学校での学習を家庭でもう一度じっくり振り返り学習内容を定着させることが大切です。プロジェクトで昨年度実施した学習・生活習慣アンケート調査において、家庭での学習時間は学年が上がるにつれて長くなるのが望ましい所、どの学年も時間は一時間前後で、一日にゲームやテレビに費やす時間は小学校高学年と中学生で三時間半を超えているという結果ができました。規則正しい生活や家庭学習の習慣化など、子ども達を育むためには学校と家庭が信頼・連携・協力のもと取り組むことが大切



プロジェクト会議の様子

です。この家庭学習の手引きには、小学一年生から中学三年生までの学年毎の望ましい家庭学習の時間や目標、生活リズムなどのほか、保護者の関わり方もわかりやすく書かれ、学習・生活習慣向上に取り組みきつかけになることを願ひ発行されました。

今後、プロジェクトでは教育委員会の社会教育事業と連携し、児童生徒向けに、町民会館に宿泊しながら学校に通い、放課後の学習や身の回り

の世話に自ら取り組み自立的な態度を育む通学合宿や子ども達同士で自分達の生活課題を話し合う機会を、また、保護者向けに家庭教育出前講座や各小中学校のPTA研修会等で親子のふれあいの場を設定したり、子どもの成長と自立を支援するための親学習の機会を設けることなどを予定しています。

学習・生活習慣の向上を目指して、未来を担う子ども達を「オール乙部」を合言葉に学校・家庭・地域が協力して育んでいきたいと思います。



通学合宿で学習に取り組む児童

図書室の新刊おすすめ紹介

【一般向け】

- 55歳からのハローライフ (村上 龍)
- 等伯 ①② (安部 龍太郎)
- とんび (重松 清)
- 何者 (朝井 リョウ)
- abさんご (黒田 夏子)
- 解錠師 (ステイブ・ハミルトン)
- 幕末のジャンヌ・ダルク 新島八重 (好川 之範)
- 認知症の正体 (飯島 裕一)
- 日本を救う！「当たり前基準」 (遠藤 友彦)
- すりへらないココをつくるシブシブな習慣 (心屋 仁之助)
- シルバー川柳 (ポプラ社)

【幼児・児童向け】

- はだしのゲン (中沢 啓治)
- ドギーマギー動物学校 1・2 (姫川 明月)
- 動物と話せる少女リリアーネ 6・7 (タニヤ・シュテプナ)
- 王様ゲーム (金沢 伸明)
- あまい宝石 (工藤 由美)
- だるまのしゅぎょう (ませぎ りえこ)
- ねこのたからさがし (さえぐさ ひろこ)
- おおきいちいさい (元永 定正)

みなさまのご来室をお待ちしています♪

『みたい！よみたい！ 絵本とかみしばい』

とき 5月25日(土) 10時～
ところ 公民館図書室

3月の読み聞かせ会では、平成24年度中に6回以上読み聞かせに参加した子ども達に賞状としおりが手渡されました。

また、読み聞かせ会では読み聞かせボランティアを募集し、館浦婦人会のほか小学生も読み聞かせボランティアとして絵本と紙芝居の読み聞かせを披露してくれています。

楽しい読み聞かせ会を開催しますので、参加をお待ちしています。



江差脳神経外科クリニック 救急受け入れ一部休止のお知らせ

江差脳神経外科クリニックは、平成10年の開設以来24時間救急体制を行ってきましたが、医師及び看護師体制の都合により、5月1日から救急患者の受け入れを次のとおり、一部中止することになりましたので、お知らせします。

○受け入れ中止になる曜日・時間

- ・土曜日午前9時から月曜日午前9時まで
- ・祝祭日午前9時から翌診療日の午前9時まで

※月曜日から金曜日の診療体制（救急含む）は今までどおり行います。

○お問い合わせ

江差脳神経外科クリニック（電話52-5500）



お知らせ

運転免許証の更新 お済みですか

五月の運転免許更新講習

の日程は、次のとおりです。

▽5月9日（木）

江差町文化会館 小ホール

優良運転者講習 午後1時

違反運転者講習 午後1時45分

▽5月21日（火）

江差町文化会館 小ホール

優良運転者講習 午後1時

一般運転者講習 午後1時45分

初回運転者講習 午後3時

狂犬病予防注射の 畜犬登録の実施

町、江差保健所、道獣医師会道南支部では、平成25年度の狂犬病予防注射及び畜犬登録を次の日程で実施します。

指定の時間までに所定の場所へ犬を連れてお集まりください。

なお、自宅訪問を希望される方は、事前に役場町民課保健衛生係（☎62-2311）までご連絡ください。

往診療として960円がかかります。

また、新たに犬を飼われる方は畜犬登録しなければなりません。

月日	時間	場所
5月13日(月)	10:00～10:20	滝瀬 成田千代司宅前
	10:25～10:45	滝瀬 伊勢ミネ宅前
	10:50～11:10	元町 みなと交流館前
	11:15～11:35	緑町 公営住宅公園前
	11:40～12:00	緑町 乙部振興公社前
	13:00～13:20	緑町 役場
	13:25～13:45	館浦 田村強宅横
	13:50～14:10	館浦 福山誠宅横
	14:15～14:40	栄浜 工藤一成宅横
	14:45～15:00	鳥山 パス停前
15:10～	自宅訪問	

月日	時間	場所
5月14日(火)	10:15～10:35	豊浜 消防分遣所前
	10:40～11:00	花磯 漁協石油タンク前
	11:05～11:15	潮見 旧明和小学校前
	11:25～11:35	可笑内 新谷商店前
	11:40～12:00	元和 清水商店前
	13:00～13:20	姫川 農協倉庫前
	13:25～13:40	姫川 旧小学校前
	13:45～14:05	旭岱 寿の家前
	14:15～14:25	千岱野 研修会館前
	14:30～14:50	富岡 旧中学校前
15:00～	自宅訪問	

料金	
狂犬病予防注射手数料	2,490円
狂犬病予防注射済票 交付手数料	550円
計	3,040円
畜犬登録手数料 (すでに登録されている方は必要ありません)	3,000円

乙部町国民健康保険病院 5月外来診療日程表

	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
午前	村瀬	村瀬	道立江差病院	乙部国保病院	厚沢国保病院	道立江差病院	村瀬	村瀬	村瀬	村瀬		佐々木病院	村瀬	村瀬	奈良	村瀬	奈良		半澤医院	村瀬	村瀬	村瀬	村瀬	村瀬		道立江差病院	村瀬	村瀬	奈良	村瀬	奈良
午後	藤永	藤永					藤永	藤永	藤永	藤永			藤永	藤永	奈良	奈良	藤永			藤永	藤永	藤永	藤永	藤永			藤永	奈良	奈良	奈良	藤永

平成二十五年度調理師試験のお知らせ

●試験の日時

八月二十九日(木)

午後一時三十分から午後四時

●受験願書の提出先・配布先及び受付期間

提出先・配布先

最寄りの保健所又は支所

・受付期間

五月十三日(月)から

五月二十四日(金)

健康推進課保健予防係

電話 52-11053

郵送の場合は、必ず書留郵便

により送付し、五月二十四日ま

での消印のあるものに限り受け

付けます。

●問い合わせ先

北海道江差保健所(北海道檜

山振興局保健環境部保健行政

室)

健康推進課保健予防係

電話 52-11053

困りごとと心配ごとと人権相談

～法務局特設人権相談所開設のお知らせ～

江差人権擁護委員協議会と函館地方法務局江差支局では、人権擁護委員の日(六月一日)行事の一つとして、次のとおり「困りごとと心配ごとと特設人権相談所」を開設します。

人権擁護委員が身近な法律問題や人権問題にかかわる様々なご相談をお受けし、解決へのお手伝いをさせていただきますので、お気軽にお越しください。

(予約不要、秘密厳守、無料)

なお、函館地方法務局江差支

局では、いつでも人権相談に応じていますので、お気軽にご利用ください。

特設人権相談開設場所、日時は次のとおりです。

日時 六月一日(土)

午後一時から午後三時

場所 生きがい交流センター

函館地方法務局江差支局・江差人権擁護委員会

電話 52-11048

道立江差病院からお知らせ

外来診療体制

5月の診療予定です

循環器内科	午前 月～金曜日 午後 月・金曜日
消化器内科	午前 月～金曜日 午後 火・水曜日
呼吸器内科	午前 金曜日 午後 木曜日(2日は休診)
外科	午前 月～金曜日
整形外科	午前 月～金曜日
小児科	午前 月～金曜日
泌尿器科	午前 月～金曜日 午後 水曜日
神経精神科	午前 月～金曜日 午後 月曜日
産婦人科	午前 月～金曜日
耳鼻咽喉科	午前 9日・23日 午後 8日・22日
眼科	午前 木曜日(2日は休診) 午後 1日・15日・22日
皮膚科	午前 火曜日
神経内科	17日・24日

診療科によって、曜日によって担当医が変わります御確認下さい。

診療日は予定であり変更になる場合もあります。事前に病院にご確認の上、受診してください。

受付時間 午前…8時00分～11時30分
(初診の方は、9時00分～)
午後…13時00分～14時30分

がん患者さんをサポート「ほっこりの会」3

3月26日に第一回「ほっこりの会」が開かれました。3名の方が参加されました。今回は主に自己紹介や体験談、自分の治療経過などの話しから、抗がん剤治療による副作用で倦怠感や食欲不振がありつらかった、普段出来ていた事がおっくうになり何もしたくない気持ちになった、痛みがあると転移したのではないかと不安になるなど、普段感じていることが、話題として話されていました。「ほっこりの会」は同じ病気をした方たちが話すことによって、気持ちが少し楽になったり、元気をあげたりもらったりできる場として利用してほしいと思っています。一人でも悩まず、是非「ほっこりの会」に参加していただきたいと思っています。

第二回目は、テーマを一つ決めてみんなで学習することを企画しています。



☆看護師通年募集のお知らせ

現場復帰される方、新人の方も個別にしっかりサポートします。看護師正職員の採用試験は函館で受験でき作文と面接です。是非受験して仲間になりませんか。また臨時看護職員は常時募集し当院での面接のみです。介護士やヘルパーの方も募集しております。気軽にご連絡ください。

☎ 52-0036 (内線202) 藍葉

職員の人事異動

四月一日付で、職員の人
事異動がありましたのでお知
らせします。

◎乙部町人事

▼町民課長兼年金係長(町民課兼在宅福祉保健複合施設所長兼地域包括支援センター所長) **佐藤英稔**▼町民課兼保育園長兼在宅福祉保健複合施設所長兼地域包括支援センター所長(町民課長補佐兼介護保険係長) **服部俊喜**
▼産業課長補佐兼商工労働観光係長(国保病院事務次長兼医事係長) **前田平蔵**▼建設課長補佐兼技術係長(建設課管理係長兼建設課技術係長) **麓洋**▼国保病院事務次長兼庶務係長兼医事係長(町民課国保係長) **幸田修二**▼地域包括支援センター次長兼介護予防係長兼町民課長補佐(地域包括支援センター介護予防係長兼町民課主査) **吉岡紀子**▼町民課長補佐兼住民係長(町民課住民係長) **品野百合子**▼保育園次長(保育園保育係長) **伏見礼子**▼国保病院給食栄養係長(国保病院主査) **八木智美**
▼建設課管理係長(建設課主査) **谷脇徹**▼産業課農務係長

(産業課主査) **三浦英春**▼町民課国保係長(総務課主査)

山本裕樹▼町民課介護保険係長(総務課主査・北海道に派遣) **伊藤鉄将**▼保育園保育係長(保育園主査) **小林郁子**▼総務課主査(税務課主査) **井田拓身**▼北海道へ派遣(産業課主査) **高島博志**▼産業課農務係長兼務及び商工労働観光係長兼務を解く 産業課長補佐 **吉田宏幸**▼町民課国保係長(総務課総務係・北海道後期高齢者医療広域連合派遣) **鈴木浩太**▼税務課賦課係兼徴収係(建設課管理係兼水道温泉業務係) **渡辺尚樹**▼建設課水道温泉業務係兼管理係(産業課商工労働観光係兼林務係) **川道裕斗**▼産業課商工労働観光係兼林務係(財政課経理係) **竹内拓也**

新規採用

▼総務課総務係兼交通住民運動係 **細畑佑一郎**▼財政課経理係 **常田圭祐**
退職(三月三十一日付)
▼**梅川竹秋**(町民課長兼保育園長)▼**鈴木司**(国保病院庶務係長)▼**町中春子**(国保病院看護主査)▼**敦賀篤子**(国保病院看護講師)▼**冲崎雅樹**(町民課国保係)

◎乙部町教育委員会人事

▼事務局主査(社会教育主事) **和島中央**

◎選挙管理委員会人事

▼書記併任 **井田拓身**▼書記併任 **細畑佑一郎**

◎農業委員会人事

▼次長併任 **吉田宏幸**▼書記併任 **三浦英春**

◎檜山広域行政組合乙部消防署人事

▼次長兼管理係長(救急係主査) **金澤久芳**▼次長兼警防係長(警防係長) **長尾修**▼予防係兼危険物係長(予防係主査兼危険物係主査) **牛谷内一志**

新規採用

▼予防係兼管理係 **坂矢琢郎**
退職(三月三十一日付)
▼**佐々木廣彰**(次長)▼**花谷鉄也**(次長兼予防係係長兼危険物係長)▼**金澤健悦**(次長兼管理係長)

消防団の人事異動

昇格者

▼第三分団 **石山幸康**(分団長)▼**菊地善人**(副分団長)▼**菊地善朗**(部長)▼**麓政善**(班長)▼**増川高志**(班長)▼**松田直樹**(班長)

入団者

▼第一分団 **倉持篤**、**甲谷信二**▼第二分団 **工藤睦仁**、**永淵友也**▼第三分団 **藤田祥貴**、**蠣崎幹太**

退団者(三月三十一日付)

▼第一分団 **小林紀博**、**工藤泰博**▼第二分団 **森義仁**▼第三分団 **阿部修一**、**麓克文**、**松田金作**、**三木康**

よろこび

かなしみ

3月15日～4月14日
こんにちは
よろしくね

おこやみ
もうし上げます

今井 孝さん(64歳)滝瀬
寺澤 サキさん(92歳)元和
櫻井 スエさん(101歳)元和
澤谷 考一さん(71歳)館浦
門口 英道さん(58歳)緑町
阿部貞四郎さん(79歳)元町

おめでとう
おめでと

高松 諭 志さん(栄浜)
狭間 ゆみさん(平取町)

※この欄に掲載を希望しない方は、届出の際窓口へお申し出ください。

編集後記

新年度を迎えてひと月。環境が変わった人もそうでない人も、何となく忙しい毎日だったのではないだろうか。四月は瞬く間に過ぎ、一息つくこの頃、桜の便りも聴こえてきました。

桜の季節は何故か心が躍ります。何かに挑戦するには良い季節ではないでしょうか。広報紙もよりわかりやすく、親しまれる紙面づくりをめざします。今年度もよろしくお願ひします。

町の人口

= 3月末現在 =

世帯数	1,967 (-9) <-18
人口	4,248 (-17) <-74
男	1,953 (-13) <-33
女	2,295 (-4) <-41

() 内は前月との比較増減
< > 内は3月末からの累計増減

広報 おとべ

平成 25 年 5 月 1 日発行 (第525号)
編集・発行 乙部町総務課企画係
〒043-0103 北海道乙部町字緑町388
(TEL) 0139-62-2311 (FAX) 0139-62-2939
ホームページ <http://www.town.otobe.lg.jp>

5月は固定資産税〈第1期〉の納期限です。

問伐で未来につなぐ北の森
この用紙は、原材料の一部に道産問伐材を使用しております。